

保護者会の活動紹介 第8回目

秋草学園高等学校父母会



故秋草かつえ先生が、昭和24年に中野区に秋草学園を創立されたことに始まり、グループには、秋草学園短期大学、秋草学園福祉教育専門学校、あきくさ保育園を擁しており、昭和57年に秋草学園高等学校が開学いたしました。

現在は、特進選抜コース、進学選抜コース、進学コースI類・II類、幼児教育・保育進学コースに編成されており、男性教諭陣30名を除いた、女性教諭陣20名を筆頭とし、848名の生徒たちと共に「乙女の園」として学園生活を展開しており、建学の理念「愛され信頼される女性の育成」を掲げ、人々から深い敬愛を受け、厚い信頼を寄せられる人物像の育成を目指しております。

部活動も上昇気流に乗り、ダンス部は4年連続全国大会上位に入賞し、卓球部も3年連続全国高校総体出場。吹奏楽部も埼玉県内のボランティアも含み活躍しています。淑やかさだけでなく、しなやかさも鍛えている学校でもあります。

父母会は開学と同時にスタートしており、会長、副会長2名、監事3名、生活活動委員、文化活動委員、広報委員、1学年委員、2学年委員、3学年委員で総勢198名になります。男性陣は会長、副会長2名、委員9名のみで、父母会も「乙女の園」となっておりますが、負けず「おやじの会」と称して意気盛んであると自負しております。

学園行事である6月の「体育大会」と9月の「桔梗祭」(学園祭)の協力支援があり、桔梗祭では保護者も楽しめる模擬店を父母会各委員会から出店し、生徒たちとも競っています。

また、生活活動委員会による校外パトロール、文化活動委員会による4回のカルチャー・スクール、研修旅行、特別講演会(昨年は「戦場カメラマンの渡部陽一」さんによる講演でした)などの活動も行っています。写真は7月6日に行われた教諭陣混合による「ビーチ・ボール・バレー大会」のものです。保護者同士や先生方とも親睦を図っています。広報委員会は年に3回の広報紙「あきくさ」を発行し各時期の活動を報告しております。

生徒たちの応援にとどまらず、共に走り、保護者自らが楽しめる環境創りを目指して活動を継続してまいります。

平成25年度埼私学保連役員と理事

| | | |
|-----|-------|----------------|
| 会長 | 島村 健 | (大妻嵐山高等学校) |
| 副会長 | 柳沼 薫 | (獨協埼玉高等学校) |
| 副会長 | 金子千尋 | (大宮開成高等学校) |
| 副会長 | 抜井尚男 | (山村学園高等学校) |
| 副会長 | 新村善郎 | (本庄第一高等学校) |
| 会計 | 鳥海由行 | (開智学園総合部) |
| 会計 | 宮内一光 | (秋草学園高等学校) |
| 書記 | 尾形亜矢子 | (城北埼玉高等学校) |
| 書記 | 岡安紀子 | (大宮開成高等学校) |
| 理事 | 小暮泰雄 | (武蔵越生高等学校) |
| 理事 | 佐竹千恵子 | (狭山ヶ丘高等学校) |
| 理事 | 斉木泰光 | (城西大学附属川越高等学校) |
| 理事 | 高橋美佐子 | (武蔵越生高等学校) |
| 理事 | 浜 始寛 | (武南高等学校) |
| 理事 | 梶田敏宏 | (昌平高等学校) |
| 理事 | 末次敦子 | (浦和実業学園高等学校) |
| 理事 | 椎橋純子 | (浦和実業学園高等学校) |
| 理事 | 小池泰之 | (城北埼玉高等学校) |
| 理事 | 野口浩明 | (聖望学園高等学校) |
| 理事 | 佐々智美 | (春日部共栄高等学校) |
| 監事 | 飯塚幸一 | (東京農業大学第三高等学校) |
| 監事 | 寶野慶文 | (山村国際高等学校) |

以上、22名で頑張っておりますので1年間どうぞ宜しくお願い申し上げます。



埼玉県私学振興大会

日時：平成25年11月22日(金)
午後2時～

会場：さいたま市文化センター
大ホール

大会スローガン

公私間格差を是正し
特色ある校風で学べる自由を!!
多くの皆様のご参加をお願いいたします。

埼私学保連ニュース

2013年9月発行 Vol.13

Saishigakuhoren NEWS

発行 / 埼玉県私立小学校中学校高等学校保護者会連合会(略称:埼私学保連)

所在地 / さいたま市浦和区高砂4-13-20 埼玉私学会館内 TEL.048-866-4478 FAX.048-866-4479

埼私学保連ニュースは今回で第13号となります。これまで各学校の生徒数に対して一定の割合の部数のみの発行でしたので、すべての保護者の皆様にお届けすることが出来ませんでした。より多くの皆様にご覧いただきたく、今号より生徒数分の部数を発行いたします。つきましては、改めて埼私学保連の概要をご紹介します。今後とも埼私学保連の活動にご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

埼玉県私立小学校中学校高等学校保護者会連合会とは



平成24年度 私学振興大会

埼私学保連は、私学助成運動や青少年健全育成などの私立学校振興のため、埼玉県内の私立小学校、中学校、高等学校の保護者会の現役役員を中心とする組織として平成19年2月18日に誕生しました。

21世紀を担う青少年の健全育成や児童、生徒の安全、防災、防犯問題等についても、保護者間で情報を共有し、関係団体と相互に協力して、私立学校教育の充実・発展に寄与していきます。

[目的] 本会は学校教育における私立学校の重要性に鑑み、広く児童生徒の保護者の立場から、埼玉県私立中学高等学校協会等の私立学校関係団体と緊密かつ強力な連携を保ち、これらの団体とともに私立学校の振興及び青少年の健全育成に努め、私立学校の充実及び発展に寄与することを目的としています。

[組織] 埼玉県における加盟私立小学校・中学校及び高等学校在籍の保護者並びに加盟校の理事長・校長推薦の保護者により結成された学校ごとの団体によって構成されています。本年は会長・副会長・会計・書記・理事・監事の合計22名が役員として各学校より出向しております。

[主な事業] ・埼玉県私学振興大会の開催(私学助成制度の堅持と助成額の増額を目的とした事業)
・研修会の開催(各校保護者会を対象とした教育に関する研修会)
・加盟校等代表者連絡協議会の開催(各加盟校による情報交換・意見交換)
・定期総会
・新春懇談会(各加盟校による情報交換・意見交換)
・その他(日私学保連全国総会・研修会への参加、関東地区私学保護者会理事会への参加、県の予算編成に対する要望、広報誌の発行ほか)

[関連団体] ・日本私立小学校中学校高等学校保護者会連合会 <http://www.nisshigakuhoren.jp/>
・一般社団法人埼玉県私立中学高等学校協会 <http://www.saitamashigaku.com/>

◆加盟校(あいうえお順 ※平成25年9月1日現在)

秋草学園高等学校、浦和明の星女子中学・高等学校、浦和学院高等学校、浦和実業学園中学校・高等学校、浦和ルーテル学院小・中・高等学校、大妻嵐山中学・高等学校、大宮開成高等学校、大宮開成中学・高等学校(一貫部)、開智小学校中学校(総合部)、開智中学・高等学校(一貫部)、開智高等学校、開智未来中学・高等学校、春日部共栄中学・高等学校、川越東高等学校、慶應義塾志木高等学校、国際学院高等学校、小松原高等学校、小松原女子高等学校、狭山ヶ丘高等学校・附属中学校、城西川越中学校、城西大学附属川越高等学校、正智深谷高等学校、昌平中学・高等学校、城北埼玉中学・高等学校、聖望学園中学・高等学校、西武学園文理小学中学高等学校、西武台高等学校、東京成徳大学深谷高等学校、東京農業大学附属第三中学・高等学校、東邦音楽大学附属東邦第二高等学校、獨協埼玉中学高等学校、東野高等学校、武南中学校・高等学校、星野学園中学校・星野高等学校、細田学園高等学校、本庄第一高等学校、本庄東高等学校、武蔵越生高等学校、山村学園高等学校、山村国際高等学校、立教新座中学・高等学校、早稲田大学本庄高等学院

埼私学保連 活動の報告

平成 25 年度埼私学保連会長就任にあたって 埼私学保連 会長 島村 健



保護者の皆様には、日頃より埼私学保連の活動にご理解ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。平成 25 年の定期総会で、会長に再任されました島村です。3 年目になりますが、本年も引き続きご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

埼私学保連は、平成 19 年 2 月に設立をいたしまして 7 年目になります。埼玉県中学高等学校協会さんと共に青少年の健全育成と私学振興を掲げて設立当初より活動してまいりました。

今年度も、特に公私間格差の是正や学校等経費助成について各方面に要望していくための埼玉私学振興大会を 11 月 22 日に開催いたします。保護者の皆様には、毎年大変なご協力をいただいておりますが、今年度もよろしくお願いいたします。

また、主な事業といたしまして、8 月に開催いたします研修会では 1 部講演会、2 部は保護者会活動の取り組み実践発表をお願いしております。

また、10 月、5 月には、加盟校等代表者連絡協議会を、そして来年 2 月には新春懇談会を開催いたします。加盟校代表者の皆さんより活動報告や意見をいただき、今後の埼私学保連の運営、活動に活かしていきたいと思っております。

これからも埼玉県中学高等学校協会さんと連携して、さらに日私学保連と協力して、私学発展のために活動してまいりますので、加盟校の保護者の皆様のさらなるご支援ご協力をお願い申し上げます。

定期総会報告

6 月 2 日(日)午後 2 時より、さいたま市文化センター 3 階大集会室に於いて、第 7 回定期総会を開催。当日は、加盟校 41 団体中 30 団体、3 校のオブザーバーを含む 70 名が参加し、本会は有効に成立いたしました。

- 島村会長の挨拶、来賓のご挨拶に続き
- ①平成 24 年度事業報告
 - ②平成 24 年度決算報告及び監査報告
 - ③平成 25 年度役員(案)
 - ④平成 25 年度活動方針・事業計画(案)
 - ⑤平成 25 年度予算(案)

以上 5 議案について審議し、賛成多数にて承認されました。また、議事の質疑応答では関連な発言を頂き、島村会長より資料の補足等を含め説明させて頂きました。

総会閉会後の懇親会では、和やかな雰囲気の中、学校間の交流が行われ、盛会のうちに終了いたしました。

日頃から保護者の皆様には、ご理解ご協力を賜り、誠にありがとうございます。



日私学保連総会・研修会(香川大会)

参加報告 埼私学保連 副会長 柳沼 薫



平成 25 年度日私学保連の総会・研修会(香川大会)は「今こそ私学から発信～教育が未来を拓く～21 世紀(あす)を担う子どもたちのために」をテーマに高松駅前の JR ホテルクレメント高松を会場に 7 月 12、13 日の 2 日間開催されました。12 日の総会には下村文部科学大臣、国会議員、香川県知事をはじめ多くのご来賓と都道府県学保連の代表者、オブザーバー約 160 人が参加いたしました。

総会に続き日本私立中学高等学校連合会会長の吉田晋氏による「公私間格差の是正に向けた取り組み」の講演。その後の尽誠学園高等学校の生徒による和太鼓の演奏では、ソロパートあり手拍子ありの躍動的な演奏で会場は大いに盛り上がりました。

13 日の研修会では東京私学教育研究所所長 清水 哲雄氏による「家庭における学習環境を考える」の講演をいただき思春期の子どもを持つ保護者の一人として改めて感じる事が多くありました。また、金刀比羅宮禰宜 琴陵 泰裕氏より海の神様こんぴらさんに関する「こんぴら信仰について」のユーモアあふれる講演をいただきました。

大変有意義な 2 日間を過ごさせていただき感謝いたします。来年度は大阪府で開催される予定です。

関東地区代表者会・研修会(栃木大会)

参加報告 埼私学保連 副会長 金子千尋



8 月 28 日(水)午後より、宇都宮東武ホテルグランデに於いて、関東地区代表者会及び研修会が行われました。開催県である栃木県私学保連会長の開会の言葉で始まり、本年度関東地区私学保連の会長である埼玉県私学保連島村会長の挨拶、そして来賓には夏の甲子園出場校の作新学院学院長 船田様が登場され、私学を取り巻く厳しい環境に対して公私間の協調が必要とのお話を頂きました。

続いて各県の代表者による活動報告、そして来年度開催地の茨城県へ引継ぎをして、代表者会が終了いたしました。

研修会では、元日光東照宮禰宜、現在は日光東照宮特別顧問 高藤 晴彦氏により「世界遺産 日光東照宮の謎と真実」の演題で、御神殿の謎と真実を 90 分、時間の許す限りお話していただきました。1999 年に世界遺産に登録された日光東照宮には徳川家康公が祀られ、「家康の遺言」に基づき建立された日光東照宮には天下泰平の思いが随所に表現されているとのこと。教養溢れる内容の中にも、笑い声が絶えない、とても楽しい時間を過ごすことができました。残念ながら時間が足りず、最後は「及ばざるは過ぎたるより勝れり」の家康の言葉で締めくくられました。

埼私学保連研修会 報告

埼私学保連 副会長 新村善郎



8/29(木)14:00 よりラフレさいたまにおいて研修会が開催されました。今回は「21 世紀を生き抜く人間を育てるために」と題し京都造形大学教授の寺脇研先生に講演を頂きました。

東大法学部から文部省という輝かしいキャリアをお持ちの先生ですが、そのお話はとてもユニークで、かつ今までに

ない切り口で教育について 90 分語ってもらいました。映画評論家としての肩書も持つ先生ならではの軽妙なトークであったと思います。

先生は文部省時代にいわゆる「ゆとり教育」を推進された実績を持ちます。「ゆとり教育」と聞くと今や教育行政の失敗のように言われますが、先生の著書にもあるように「ゆとり教育は間違っていない」というご主張を様々な観点から整然とお話くださいました。

「追いつき追い越せ」が目的だった昭和の教育と、経済が停滞し今後人口減少社会へと向かう今の教育を、同様に捉えていては失敗するという理念。つまり「競争」ではなく「共生」を育ませる教育を考えるべきだと強く語られました。

仰るとおり、かつて後進国だった日本を、激しい競争理念を植え付けることで 100 年足らずで欧米に比肩する経済大国へ押し上げた、その頃の教育ではこれからの高齢化と過疎化の進む衰退社会で通用しないと。その一念から「わかちあう」気持ちを育てる、「社会のための教育」ではなく「子ども個人のための教育」を推進されたのです。

現在、先生は小中高生と意見を交わす場を設け様々な活動に携わっております。ネットで検索すればそれらが多数表示されます。ぜひ一度寺脇先生の理念に触れてみてはいかがでしょうか。あるいは違和感を持たれる方もおられるでしょう。それでもこのように社会の最先端で新しい教育を模索している人の思考には何かしら得るところがあると考えます。



研修会後半では聖望学園と細田学園の保護者の方に保護者会の活動発表をしていただきました。両校とも旺盛な学校活動状況をご披露くださいました。と同時に学校に対する揺るぎない信頼が感じられるともしっかりとした発表でした。

聖望学園中学校・高等学校 PTA 後援会の発表



細田学園高等学校 生徒の父母の会の発表

